

2021 アートマイル国際協働学習プロジェクト 報告書

日本学校名 [横浜国立大学附属特別支援学校] 担当教諭名 [鈴木 学・牧 ちさと] (高等部 27名)

相手国・地域 [フランス]

海外学校名 [Le Likes La Salle] 担当教諭名 [Isabelle Boisdon]

■実施教科・時間数について教えてください。

	教科	単元名	時間数
アートマイルに関連した 実施教科・時間数	社会・理科	貿易ゲーム、フランス調べ学習	20
	美術	水彩画、共同制作	8
	国語	レポート読み取り及び作文、手紙作成	5
	総合	自己紹介と日本文化動画作成	10
	特別活動	ビーチクリーニング、水族館見学	4

■作品に込めた想いについて教えてください。

題 (テーマ)	手を取り合って素敵な海を
メッセージ (相手と想いを合わせて 世界に発信したいメッセージ)	世界みんなが手を取り合って、海の問題の解決になる行動をすれば、海で暮らす生物が仲良く暮らしていきます。「クジラの中にゴミではなく、きれいな海を」をイメージして描きました。



■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

成 果	課 題
<ul style="list-style-type: none"> ・絵具と筆を使って遠くの国とつながることができたと生徒自身が実感できたこと。 ・「海の豊かさをまもろう」について、生徒が調べたり、考えたりしながら自分の考えをまとめることができた。 ・世界のどこかで起こっていることが自分たちの生活に影響を及ぼすことがあるということを実感できた。 ・異なる国の特別支援学校(学級)どうして1つの壁画を完成させることができたこと。 	<ul style="list-style-type: none"> ・相手校生徒の障害の実態を正確につかむことができず、効果的な交流の進め方を確立させることができなかった。 ・生徒が意見をまとめ伝えあうことはできたが、内容やテーマについて相手国と議論を交わし深めるまでには至らなかった。

■アートマイルに取り組む前と比べて相手の国・地域や世界に対して意識はどう変わりましたか？

児童生徒の意識の変化	教師の意識の変化
<ul style="list-style-type: none"> ・他国の生徒と絵を通して交流を行うことに、イメージがわいていない様子の生徒もいたが、実際に絵が完成して実感がわいた様子だった。 ・世界の問題を自分事としてとらえられるようになった。 ・他国との違いだけでなく、共通点やつながりを考えることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・英語によるメール等でのコミュニケーションは、翻訳アプリが活用でき、予想よりも意思の疎通はできたと感じる。他国と交流する際に生じる実務的な問題に直面し、他国との文化の違いをよりリアルに感じる事ができた。

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活動内容	児童生徒の反応	実施教科等
出会い 自己紹介	6月 7月	<ul style="list-style-type: none"> ・フランスの自己紹介文を訳して内容を知る。 ・相手国についてテーマごとに調べる。 ・自己紹介動画作成 ・日本紹介動画作成 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習に対して、期待の声と不安の声があったが、ほぼ全員が高い意欲を示して活動に取り組んでいた。 ・日本の伝統について調べたり、家族と話題にしたりする生徒がいた。 	総合
共有 テーマ学習	7月 8月	<ul style="list-style-type: none"> ・貿易ゲーム ・各自で海の環境問題について調べ学習[夏休み課題] 	<ul style="list-style-type: none"> ・グループでの活動や世界の人やモノ、お金の動きを体験する中で、自分たちにとってよりよい生活とはなにかを考えている様子だった。 ・テーマに沿って調べ学習を進めたり、自分の興味関心のある内容で調べ学習を進めたりする生徒、様々であった。 	社会 理科
融合 メッセージ作成	9月 ～ 11月	<ul style="list-style-type: none"> ・海の環境問題に関する意見のまとめと発表[スライド作成] ・メッセージ協議 ・フランスからのレポート『第7大陸』読み取り及び作文 	<ul style="list-style-type: none"> ・なぜ環境問題が起こるのか原因と解決策、自分たちのできる行動をグループでまとめ、発表を行った。仲間に自分の意見を伝えるためにプレゼンテーションを行い、分かりやすく伝えることを念頭に活動を行った。 ・『ENZO』さんのレポート』と題して、第七大陸に関する情報の整理や、レポートに対する自分の意見をまとめる学習の中で、相手の意見の意図を読みとり、自分の考えを深めたりしました。 	社会 理科 国語
創造 壁画制作	11月 ～ 2月	<ul style="list-style-type: none"> ・共同制作を体験しよう ・共同制作 壁画づくり ・壁画発送作業 ・ビーチクリーン活動 	<ul style="list-style-type: none"> ・壁画制作にあたり、構図や制作分担を考慮しながら絵を描くことができた。 ・ビーチクリーン活動を通して、より一層ごみ問題に関する興味が深まった様子が見られた。[評価の要素もある] ・国際郵便に関する事情、世界情勢が生活に及ぼす影響を考えることができた。 	美術 特別活動
評価 振り返り 自己評価	3月	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケート [FORMS] ・一年間のふりかえり[写真] 	<ul style="list-style-type: none"> ・仲間と意見が食い違った時に大変な思いをしたが、その経験を生かして次の活動に取り組むことができたという意見が挙がった。 ・外国の人と、銃や爆弾でなく筆や絵具でつながることのできた僕たちは幸せだと感想を述べる生徒もいた。 	美術

■アートマイルでついた力について教えてください。

評価 (5:とてもついた 4:ついた 3:どちらともいえない 2:あまりつかなかった 1:つかなかった)

学習目標・つきたい力	評価	教師がそう感じた場面と理由
異文化・自文化を理解する力	5	日本の文化紹介を通して、「日本とは?」「海外から見た日本はどのように映るのか?」といったことを念頭に活動を行っていた。自分たちの違いだけではなく、自分の興味のあることを通じて、フランスとの共通点を見出す生徒が多くいたため。
批判的に思考する力 (客観的・論理的視点)	4	自分たちの快適な生活が海洋汚染につながっていること、一方で自分たちの暮らしやすさを変えることは難しいのではないかと考える生徒がいた。フランスの生徒のレポートを読んで『第7大陸』ということを知り、自分なりに考えを深めることができた生徒もいた。
主体的に考え行動する力	4	グループでの活動を通して、メンバーと主体的に取り組むにはどうしたらいいかを考えながら活動を行っていた。
多様な他者と対話・協働する力 (海外の相手と対話・協働)	3	海外との意見は伝え合うことにとどまったが、どのように伝えるか?を考え活動を進められた。
想いを言葉や形にする力 (メッセージ作成・壁画制作)	5	日本と海外とで意見を伝え合い、メッセージや壁画の内容の意図を組み合わせることができていた。